記念館新聞

財団法人柳田國男・松岡家顕彰会記念館
〒679-2204
神崎郡福崎町西田原 1038の12
電話：0790-22-1000

ウシさん大集合
～牛・ウミウシ・カタツムリ～

2月14日（土）～3月22日（日）、丑年にちなんだ企画展を行います。

●柳田國男の『蝸牛考』●

カタツムリには牛のようなツノがあり、動きも遅いので、漢字では「蝸牛」と書きます。

柳田國男は、そのカタツムリの呼び名を、日本国中から集め、著書『蝸牛考』の中で、方言分布の仮説を立てました。それが、「方言周圏論」です。

展示では、その仮説を証明した朝日放送『探偵！ナイトスクープ』の「全国アホ・バカ分布図」と共に、『蝸牛考』を分りやすくご紹介します。

●松岡映丘が描いた牛たち●

松岡映丘の絵の中には、しばしば動物を見つけることが出来ます。中でも、人にとって身近な存在だった牛は、多くの場面で登場します。

そこで、今回は牛が描かれた画稿を展示します。学問の神様「天神」や、今昔物語の「あしかり」の一場面を描いた絵から、「牛」を見つけ出してください。

良いことは牛に乗ってやってくる？

学問の神様「天神」といえば、菅原道真ですが、菅原道真といえば、梅と牛がよく連想されます。

牛との関係については、道真の出生年が丑年であった、など多くの説がありますが、次のような言い伝えもあります。

牛天神北野神社によると、源頼朝が奥州へ征討の途中、夢の中に牛に乗った道真が現れ、願いが叶うと告げたそうです。

当館所蔵の「天神」が、その場面を描いているかどうかは不明ですが、力強い牛が印象的な作品です。

くにょはん覚書

梅の木について

成城大学民俗学研究所によると、柳田國男は、地域の植林を中心とした街づくりに積極的に関わっていたそうです。

成城に移り住んで以来、「小柿」「杏」と試みましたが、地域にあまり根付かなかったようです。そして、最後に試みたのが「梅」でした。

時には、彼自ら梅の木を持たせた植木屋を連れて現れ、植える場所まで見立てたといいます。その梅は今も見事な花を咲かせているそうです。

そういった梅への思い入れは、『成城学園時報』に寄せられた「梅紅白」という記事にも見ることが出来ます。その文章からは、まるで人を思いやるような梅へのまなざしが感じられます。

イベントのお知らせ

2月14日（土）～3月22日（日）の企画展にあわせ、**3月15日（日）**にイベントを開催します。

楽しいお話　2段重ね♪

◆講談

「柳田國男の『かたつむりの話』」

河南堂珍元斎

◆講演

「アホ・バカ方言が描く美しい円」

松本修（朝日放送）

時間　午後1時～3時頃

場所　柳田國男・松岡家生家

カタツムリのはてな？にお答え！

◆セミナー

「カタツムリをさがそう」

鈴木武（人と自然の博物館）

①國男さんちのカタツムリ

～生家や鈴の森神社のカタツムリをさがそう～（午前10時集合）

②きみの町のカタツムリ

～近所でカタツムリを見つけたらもってこよう～（随時）

時間　午前10時～午後4時

場所　辻川山と記念館2階講義室

お問合せ　22・1000

カタツムリ博士になろう

カタツムリの呼び名は、柳田國男が調べたように、「デエラボッチャ」や「ミャアミャア」など地域によって楽しい名前がたくさんあります。

しかも、カタツムリは種類も豊富です。兵庫県では主なもので13種類ほど生息しています。

身の回りにどんなカタツムリがいるか調べてみてはいかがでしょうか。

＊記念館に見分け方のパンフレットがあります

◆ご利用案内◆

【開館時間】
午前9時～午後4時30分

【休館日】
月曜日・祝日の翌日、12月28日～1月4日

【入館料】
大人200円
学生150円（団体割引は20名以上）
小人100円

会員募集中！
会員の方は更新をお願いいたします。